

兵庫県保険医協会北阪神支部

—新春政策研究会・懇親会のご案内—

# 新高齢者医療制度の行方

—民主党政権の医療政策を考える—

講師 協会政策部長・副理事長  
**加藤 擁一** 先生

日時 **2011年1月15日(土)** 16:00 ~ 17:30

会場 **家庭料理 うめ家** (ご参加の方には詳細地図をお送りします)  
(伊丹市宮ノ前 1-2-34 阪急伊丹駅から徒歩約5分)



懇親会 17:30 ~ (於: 同上 参加費 . 5,000 円)

厚生労働省は12月8日、後期高齢者医療制度に代わる「新制度」の最終案を示しました。

その中身は75歳以上の高齢者を差別し別勘定にする現行制度の仕組みを温存するものです。また、現在行われている、低所得者の保険料を軽減する追加的な措置を「段階的に縮小する」方針を新たに打ち出しました。さらには、70~74歳の患者負担を、13年度に70歳に到達した人から順次、医療費の1割から2割に引き上げることも検討されています。

こうした09年の総選挙公約を無視した政策によって、医療機関は、国民はどのような影響を受けるでしょうか。果たして国民の健康も脅かされるほど日本にはお金がないのでしょうか。これらの問題について政策部長の加藤先生に報告をいただき、温かい鍋を囲みながらの討論も予定しています。ぜひご参加ください。



(切り取らずに返信ください) 【 F A X 返信 】 078-393-1802

## ● 1月15日(土) 政策研究会に

・ ( ) 出席する ( ) 名 \*人数をお知らせください

地区 \_\_\_\_\_  
御氏名 \_\_\_\_\_ 医療機関名 \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会

# 北阪神支部 ニュース

2010年 12月15日号 No.208  
発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部  
支部長 中井通治  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階  
(078)393-1801 FAX(078)393-1802  
http://www.hhk.jp/

## 第78回評議員会

# ワクチン接種は国の責任で

### 澤村新先生が発言

協会は11月14日、協会会議室にて第78回評議員会・臨時(決算)総会・第33回共済制度委員会を開催。145人が参加した。北阪神支部から澤村新先生(宝塚市・評議員)が支部総会などの取り組みから「ワクチン問題」について発言した。発言要旨を紹介する。

北阪神支部は10月2日に第25回総会を開催しました。記念講演では国立成育医療研究センター・第一専門診療部感染症科医長の齋藤昭彦先生が「ワクチン行政の現状と課題—米国の予防接種制度から学ぶこと」をテーマに講演されました。

齋藤先生のお話からは、日本が他国に比べワクチン後進国であり、「VPD」すなわち「ワクチンで防げ 支部の取り組みを紹介する澤村先生  
る病気」のリスクに市民、特に子どもが晒されている現状を詳細に知ることができました。

また、移民が多いアメリカの予防接種制度をご紹介いただく中で、彼の地では多数のワクチンが推奨されており、接種率も高いことや「予防接種の実施に関する諮問委員会(ACIP)」が予防接種政策に大きな役割を果たしていること、髄膜炎の診断、治療は困難で、後遺症・死亡率も高く、ワクチンによる予防が重要であることを強調されました。

最後に、日本の子どもたちを「VPD」から守るために、必要なワクチンが国から無償で提供され、安心してワクチンを接種できる社会環境整備が必要であること。その



(1面からつづく)

ためには、①予防接種法の改定～「任意接種」(個人が責任を負うワクチン)ではなく「定期接種」(国が責任を負うワクチン)に②日本版「ACIP」の検討～ワクチン接種は国民を「VPD」から守る国策として位置づける③国民への教育～ワクチン接種は現代社会における市民の責任であることの認識を広めるとの3つを提言されました。

私も外科系なので予防接種の経験は薄いですが、ワクチンの意義はよく理解できました。「副作用のリスクが怖い」と思っていました、そうでないとわかっただけでも収穫でした。北阪神支部ではこの間、ワクチン接種費用助成の問題で市と懇談を重ねてきました。宝塚市ではHPV(子宮頸がん)ワクチンの費用助成が11月から実施の運びとなっています。今後は、各種ワクチンが国の責任において定期接種化されることを目指し、取り組みを強めたいと思います。

また、齋藤先生のご講演は非常にスムーズでわかりやすく、協会総会などの講師に適任かと思しますのでご提案します。



■インターネットで保険医協会へアクセス  
\*情報満載! 兵庫県保険医協会ウェブサイト  
<http://www.hhk.jp/>

■会員専用のメーリングリストを開設しております。  
登録いただける方は下記までお知らせください  
e-mail:hyogo-hok@doc-net.or.jp  
TEL:078-393-1801 FAX:078-393-1802

# 健康情報テレホンサービス



## 1月のテーマ

- 年未年始 味覚の障害
- 月曜日 脈がとぶ時  
- 期外収縮ってなあに
- 火曜日 乳歯のむし歯と歯並び
- 水曜日 「ロコモ」とストレッチ
- 木曜日 前立腺がん
- 金土日 療養病床をご存知ですか

通話料無料 (0120) 979-451

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。

<http://www.hhk.jp/>

## 近畿中央病院で歯科医療安全研を開催

# 安心安全な歯科医療求めて

## 北阪神初の病院見学会に大きな反響



口腔外科外来の実際を見学した

協会歯科部会は12月5日、公立学校共済組合近畿中央病院(伊丹市)で歯科医療安全管理対策研究会「近畿中央病院見学と講習会」を開催。36人が参加した。川村雅之協会理事・北阪神支部副支部長が司会をつとめた。

地域医療室や口腔外科外来の見学後、同病院歯科口腔外科部長の薬師寺登先生らが講演。薬師寺先生は「安心安全な歯科医療の確立のためには病診連携による安全管理が不可欠」と訴えた(次号感想文掲載予定)。

## 主な感想

- 「非常に勉強になりました。医科ですがこの様な機会でないで口腔外科の取り組みを詳細に知ることはあまりないので有り難かったです」(芦屋市 医科 K)
- 「病院見学会は新たな試みでよかったです。お世話になりました」(西宮市 歯科 F)
- 「とても勉強になりました。ありがとうございます」(中央区 歯科 Y)
- 「抗血栓薬のお話など優れて実践的でした。ありがとうございました」(西宮市 歯科 S)
- 「なかなか見学できない院内を見学できました。病院内でのレベルの高い診療が大変参考になりました」(淡路市 歯科 S)
- 「3部構成でとてもわかりやすい話でした。それぞれの方の思いが伝わってきました。薬師寺先生の20年来の姿勢に感動しました」(三木市 歯科 CSW)
- 「一般開業医で勤めるDHにとってとても刺激的で高いレベルのご講演を拝聴しました。大変勉強になりました」(加古川市 DH)
- 「どのテーマにおいても教えていただくことがたくさんありました。早速今後の業務の中に活かしていきたいと思います」(同 上)
- 「今後の職務に具体的にできることから活かしていきたいと思いました。講師の先生のお1人と同郷で少し嬉しかったです」(同 上)